

2019 年度

# 豊中市立青少年自然の家 報告書(概要版)

|                        |     |
|------------------------|-----|
| 1.管理運営業務の実施状況          | …1  |
| 2.本施設の利用状況             | …21 |
| 3.使用料等(利用料金)収入の状況      | …23 |
| 4.管理運営業務に係る<br>経費の収支状況 | …24 |
| 参考資料 アンケート集計           | …25 |

NPO 法人 豊中市青少年野外活動協会

# 1.管理運営業務の実施状況

## 1. 施設運営に関する基本事項について

引き続き、各種法令・条例を踏まえた「豊中市の公共施設」としてふさわしく、同時に「ホスピタリティ」や人権意識を大切にしたい施設運営を目指した。

様々な場（協会理事会、コンプライアンス委員会、わっぱる運営懇談会、職員間のミーティング等）を通して、「わっぱる」内部に留まらない多角的な運営状況のチェックを行うとともに、利用者モニタリング（アンケートや口頭での指摘等）を活用して、施設運営の課題の共有、改善に繋がっている。

2019 年度は、特に年度末にコロナウイルス感染症にともなう団体のキャンセル、主催事業の中止が多くあった。利用団体の感染防止策を検討し、リスクを最小限に抑えながらの受け入れを行った。引き続き感染症の影響は残るが、今後も最新情報を収集しながら「安全・安心な施設の管理運営」に取り組んでいく。

## 2. 施設運営について

主に以下の4つの切り口から施設運営に取り組んだ。

- (1) 青少年育成団体による自然体験活動、野外活動及び団体生活の場の提供
- (2) 自然体験活動、野外活動及び団体生活に関する指導、助言及び催しの開催
- (3) 自然体験活動、野外活動及び団体生活に関する情報の収集および提供
- (4) 自然体験活動、野外活動及び団体生活の指導者の育成及び支援

引き続き、利用者向けのアンケートや主催事業に対するアンケートの結果は良好であり、概ね計画通りに施設運営が行えたと考える。

### (1) 青少年育成団体による自然体験活動、野外活動及び団体生活の場の提供

「ホスピタリティ」を持った利用者受け入れを心がけ、それぞれの団体の目的や構成、野外活動のレベルなどを踏まえた対応を行った。また、多くの方や団体の協力を得たり、連携したりしながら、主催事業や施設整備などを実施した。特に主催事業においては、専門性を持つ団体や個人の協力のもと、多様なプログラムを参加者に提供できたと考える。

### (2) 自然体験活動、野外活動及び団体生活に関する指導、助言及び催しの開催

施設を初めて利用する団体や、野外活動経験が少ない団体でも効果的に「わっぱる」で過ごしていただけるように指導プログラムの開発や既存プログラムの改訂に取り組んだ。また、主

催・共催合わせて 22 の事業を企画し、多くの方に「わっぱる」に足を運んでいただいた。指導プログラムについては職員配置の関係から夜間プログラムの提供を縮小しているが、プログラム資料の作成や昼間のプログラムの充実に取り組んだ。

### **(3) 自然体験活動、野外活動及び団体生活に関する情報の収集および提供**

引き続き、ホームページや SNS (Twitter や Facebook) を活用しながら、「わっぱる」や能勢町を初めとする周辺地域の情報を発信した。また、学校や周辺施設へ訪問したり、施設のリーフレットを送付したりするとともに、「地域子ども教室」「ふれあい緑地フェスティバル」「キッズランドしょうない」等の外部のイベント・活動に参加して、施設の PR を行った。

### **(4) 自然体験活動、野外活動及び団体生活の指導者の育成及び支援**

大学生のインターンシップの受入れを行うとともに、研修事業として子どもに関わる指導者を対象とした「キャンプテクニックスクール」を実施した。

当協会の若者ボランティア(キャンプカウンセラー)に対しても、「わっぱる」の主催事業やプログラム提供、研修への参加を促し、野外活動指導者としての育成を図った。

## **3. 施設管理について**

引き続き、施設管理担当者(管理マネージャー)を中心に、施設管理を行った。職員ミーティングの場などを活用して、修繕が必要な箇所の情報共有、修繕のスケジュールの調整を行い、計画的・効果的な施設管理を行った。

また、2018 年の台風・豪雨による被害を受けて閉鎖していた川遊び場を、多くの市民・団体の協力を得ながら整備を行い、5 月に再開させた。

川遊び場以外についても、市民・団体と連携しながらキャンプ場フィールドの整備を進めるとともに、専門性や危険性の高い作業については専門の業者に委託した。

## **4. スタッフの配置・育成について**

第一種衛生管理者の資格を取得した安全衛生担当者が中心となり、職員間ミーティングの場などを活用して職場の安全衛生環境の維持・改善に取り組んだ。また、各種研修への派遣、開催を通して、公共施設のスタッフにふさわしい人権意識や知識の習得、施設管理やプログラム指導において必要となる資格や知識・技術の習得に努めた。その他、緊急時を想定した訓練も実施した。

## **5. 目標数値について**

標準 SLA(サービス水準合意書)で掲げた数値に対しての実績は以下の通りである。概ね全ての項目で、「確保すべきサービスレベル」を上回ることができている。主催事業の実施、様々な媒

体での施設の PR など、今後も市民や団体が「わっぱる」と接する機会を増やし、新規の利用者・団体の増加に繋げていく。加えて利用者・利用団体が「わっぱる」や自然、野外活動に親しみ「また来たい」と思ってもらえるような管理運営を行っていく。また、引き続きネットワークを広げ、多くの団体の協力を得ながらの管理運営にも取り組んでいく。

| サービス分類         | 項目                  | 実績<br>(2019 年<br>度)   | 確保すべき<br>サービスレベル      | 最高評価<br>サービスレベル       |
|----------------|---------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 施設の効用          | 利用団体数(人数)           | 296 団体<br>13, 238 人   | 280 団体<br>(13, 000 人) | 360 団体<br>(20, 000 人) |
|                | 利用率                 | 46.3%/200%            | 30%/200%              | 40%/200%              |
|                | 主催事業実施数<br>(事業数)    | 22 事業<br>※1 事業中止      | 17 事業(主催キ<br>ャンプ含む)   | 20 事業(主催キ<br>ャンプ含む)   |
| 青少年健全育成<br>の推進 | 施設環境整備実施回<br>数      | 10 回/年                | 4 回/年                 | 8 回/年                 |
|                | 主催キャンプの実施           | 6 回/年                 | 4 回/年                 | 5 回以上/年               |
|                | プログラム開発<br>(出前事業含む) | 24 件/年                | 3 件/年                 | 5 件以上/年               |
|                | H P アクセス数           | 36, 679 件             | 10, 000 件             | 20, 000 件             |
|                | 指導者研修               | 3 回/<br>延べ 48 人<br>/年 | 2 回/<br>延べ 60 人/年     | 8 回/延べ 240<br>人/年     |
| 従事者への配慮        | 職員研修                | 37 回/年                | 5 回/年                 | 6 回以上/年               |
| 関係機関との連携       | 協力団体数               | 21 団体/<br>年           | 10 団体/年               | 25 団体以上/<br>年         |
| 利用者満足度         | アンケート回収率            | 61.8%                 | 60%/利用団<br>体数         | 80%以上/<br>利用団体数       |
|                | アンケート総合満足<br>度      | 96.4<br>%             | 75%以上                 | 90%以上                 |
|                | 利用団体リピート率           | 64.2%                 | 40%以上/利<br>用団体数       | 70%以上/利<br>用団体数       |
|                | 苦情件数                | 0 件/年                 | 6 件以下/年               | 2 件以下/年               |
| 安全・安心          | 防災訓練の実施回数           | 2 回/年                 | 2 回/年                 | 4 回以上/年               |
|                | 施設内の巡視点検            | 2 回/日                 | 2 回/日                 | 3 回以上/日               |
| 収支             | 指定管理業務に係る<br>収支     | 黒字である                 | 黒字であるこ<br>と           | —                     |

## 1. 施設運営に関する基本事項について

「豊中市の公共施設」に相応しい施設の管理運営を行うため、以下の項目を実施した。

### (1) 様々な主体による多角的な管理運営状況のチェック、モニタリング

#### ① 理事会・企画運営委員会の開催

団体内での定期的な会議(理事会・運営委員会)を活用して施設の状況の報告・共有を行った上で、その後の管理運営へ反映させた。

##### a: 理事会

当協会の理事によって構成され、主に施設の管理運営方針の検討・決定を行った。2019年度は以下の日程で理事会を実施した。

|     |             |             |
|-----|-------------|-------------|
| 第1回 | 2019年5月10日  | 19:00～21:00 |
| 第2回 | 2019年11月25日 | 19:00～21:00 |
| 第3回 | 2020年2月25日  | 19:00～21:00 |

##### b: 運営委員会

当協会の理事、職員、ボランティア有志によって構成される。主催事業の実施方針の決定や準備、研修のほか、施設運営上のルールの検討、施設整備内容の検討を行った。2019度は以下の日程で運営委員会を実施した。

|     |             |             |
|-----|-------------|-------------|
| 第1回 | 2019年4月18日  | 19:30～21:00 |
| 第2回 | 2019年5月23日  | 19:30～21:00 |
| 第3回 | 2019年10月18日 | 19:30～21:00 |
| 第4回 | 2019年11月20日 | 19:30～21:00 |
| 第5回 | 2019年12月18日 | 19:30～21:00 |
| 第6回 | 2020年1月22日  | 19:30～21:00 |
| 第7回 | 2020年2月21日  | 19:30～21:00 |
| 第8回 | 2020年3月19日  | 19:30～21:00 |

#### ② 「わっぱる 運営懇談会」の実施

2019度も引き続き「わっぱる 運営懇談会」を実施した。青少年活動、教育、地元、利用団体、福祉といった様々な立場の方から、それぞれの立場に基づいたわっぱるの運営に関する提言をいただいた。

a: 実施時期 2020年3月6日(金)

b: 参加者 ・懇談会委員 5名 ・NPO 野協理事及び職員 6名

| 分野  | 所属                   | 氏名        |
|-----|----------------------|-----------|
| 青少年 | ボーイスカウト豊中地区参与        | 黒田 一男(座長) |
| 教育  | 豊中市立小曾根小学校           | 船越 聖美     |
| 利用者 | 豊中天文協会副会長            | 中川 均      |
| 地元  | 大阪府立能勢高等学校校長         | 向井 幸一     |
| 福祉  | 豊中市社会福祉協議会<br>事業経営室長 | 森 正巳      |

### ③ 利用者アンケートの実施

利用団体にアンケートを実施した。利用者に対して退所時にアンケートの提出を依頼し結果を共有、運営の改善へ繋げた。(アンケート結果については P25 を参照)

## (2)コンプライアンス委員会の設置

前述の理事会の開催に合わせて、コンプライアンス委員会を 2 回開催した。

(5 月 10 日及び 11 月 25 日)

夏の繁忙期前後での課題や実施事項の報告、振り返りを行った。

## (3)「人権」に関する研修への参加

各機関が実施している研修に参加するとともに、「とよなか男女共同参画推進センター すてっぷ」より映像教材を借りての職員内研修を実施。人権意識の涵養を図った。

※研修の詳細については P16「5. 職員の配置・育成」を参照

## (4)「施設管理担当者」および「安全・危機管理担当者」の設置

引き続き、管理マネージャーを施設管理担当者として計画的な施設管理に取り組んだ。また、管理マネージャー及び副所長を「安全・危機管理担当」として、主に以下の取り組みを行った。

### ①施設管理

施設管理のサイクルをもとに、多くの市民・団体と連携することを念頭に置いて施設整備を行った。また、専門性や危険性の高い作業については専門の業者に委託した

※施設管理の詳細に関しては、P14「4. 施設管理・施設整備」参照

### ②安全・危機管理

前述の、「安全・危機管理担当」が主導し、施設利用者・利用団体の安全対策に取り組んだ。

※安全・危機管理の詳細に関しては、P13「3. 安全対策」参照

## (5)個人情報保護、情報公開への取り組み

「個人情報保護士」の資格を有する副所長が情報保護、情報公開事例や事故事例を収集し職員向けに啓発を行った。

## 2. 施設運営

「サポート&ホスピタリティ with スマイル」を基本コンセプトとしながら、施設運営を行った。  
引き続き、以下の4つの切り口から施設運営に取り組んだ。

- (1) 青少年育成団体による自然体験活動、野外活動及び団体生活の場の提供
- (2) 自然体験活動、野外活動及び団体生活に関する指導、助言及び催しの開催
- (3) 自然体験活動、野外活動及び団体生活に関する情報の収集および提供
- (4) 自然体験活動、野外活動及び団体生活の指導者の育成及び支援

### (1) 青少年育成団体による自然体験活動、野外活動及び団体生活の場の提供

「里山の自然」と「多様な人々の支援」が融合した「豊かな活動」の場を実現するために、豊中市内や、地元能勢町内をはじめとして、多くの人々・団体とのネットワークを広げ、管理運営に協力していただいた。

#### ① 主催事業

オープンフェスタ、ワークキャンプといった主催行事において、以下の団体や個人に協力していただいた。2019 度も豊中天文協会と共催で「豊中星空まつり in 能勢」を実施した。また、若者支援の専門団体「一般社団法人 キャリアブリッジ」と協力して引きこもりの若者をサポートする「ユースチャレンジキャンプ」を実施した。その他、青少年指導者を対象にした研修事業「キャンプテクニックスクール」において、人間関係トレーニングやプログラム企画の専門家を講師として招聘した。

#### ※連携をとった主催事業

各主催事業の内容や日程、参加者数は P22「2019 年度主催事業一覧」を参照。

| 事業           | 協力団体等        | 実施内容     |
|--------------|--------------|----------|
| 里山の春オープンフェスタ | 似顔絵作家(3 名)   | 似顔絵コーナー  |
|              | 自然遊び団体(雲遊の会) | 野外工作、野遊び |
|              | 料理研究家        | 野外のおやつ作り |
|              | ガールスカウト豊中地区  | 野点       |
|              | クラフト工房主催者    | 自然工作     |
|              | 豊中天文協会       | 太陽観察     |
|              | 竹炭焼き団体       | 竹工作      |

|                |                             |             |
|----------------|-----------------------------|-------------|
| 里山の秋オープンフェスタ   | 似顔絵作家(2名)                   | 似顔絵コーナー     |
|                | 豊中天文協会                      | 太陽観察        |
|                | 自然遊び団体(雲遊の会)                | 野外工作、野遊び    |
|                | 料理研究家                       | 野外のおやつ作り    |
|                | ガールスカウト豊中地区                 | 木の工作コーナー    |
|                | 竹炭焼き団体                      | 竹工作         |
|                | クラフト工房主催者                   | 自然工作        |
| ワークキャンプ(6月・9月) | ボーイスカウト<br>ガールスカウト<br>豊中市職員 | 施設整備        |
| 星空まつり          | 豊中天文協会<br>(※共催事業)           | 星空観察・太陽観察など |
| キャンプテクニックスクール  | 共育座 REDSTONE                | 講師          |
| ユースチャレンジキャンプ   | 一般社団法人<br>キャリアブリッジ          | 訓練生の生活指導    |

## ② プログラム提供への協力依頼、協力体制の構築

引き続き、豊中天文協会の協力による天体観測を実施した。

a: 天体観測 (6件) ※2018年度は9件

雨天時、曇天時であっても、スライド上映や動画コンテンツ、ホームプラネタリウムなどを活用したプログラムを提供していただいた。

## ③ わっぱるサポーターへの登録促進、組織化

施設を「利用する」立場から、施設運営や整備に協力していただく立場へ変わってもらうことを目的として「わっぱるサポーター制度」を継続した。わっぱるの施設運営や行事に協力していただける方・団体を「わっぱるサポーター」としてリスト化している。

a: 登録団体、個人数: 49 (2018年度は45)

b: 主な活動

- i: ワークキャンプや臨時施設整備での施設の整備への協力。
- ii: 各種主催事業で、運営やプログラム提供などに協力。
- iii: 一般の利用者や学校に対するプログラム提供に協力。
- iv: 竹や薪など、プログラムに必要な資材を有償や無償で提供。

## ④ その他、周辺地域・他団体と連携した取り組み

a: 能勢町主催事業への協力

能勢町健康福祉部が主催した小学生向けの事業「夏休み！元気ひろば」にスタッフを派遣。

天気に関するワークショップを実施した。(参加者・約 30 名)

b: 周辺施設、団体への訪問

周辺の学校や施設、周辺団体を訪問し、「豊中市立青少年自然の家 わっぱる」の存在をアピールするとともに、プログラム提供、施設活用などにおいて相互の連携を図った。

※訪問先

能勢小学校、能勢中学校、能勢高等学校、浄るりシアター、けやき資料館、子育て支援センター、生涯学習センター、観光物産センター など

⑤「とよなかの里山 わっぱる」の環境整備

「里山の自然」の環境整備活動について、主催事業(「ワークキャンプ」「わっぱるの森をつくろう」「ユースチャレンジキャンプ」等)の機会を活かして、市民・市民団体と連携して行った。

また、2018 年の豪雨・台風による河川被害の復旧作業について、広く市民・市民団体に呼び掛けて協力していただいた。

(詳細は P14「4. 施設管理・施設整備」を参照)

(2) 自然体験活動、野外活動及び団体生活に関する指導、助言及び催しの開催

① モデルプログラム、指導プログラムのアピール

キャンプ経験が浅い層に対して、引き続きモデルプログラムの紹介を行った。また、技術や知識がなくても気軽に施設に足を運んでもらえるようにクッキング・クラフト・ネイチャーツアーなどの指導付きプログラムを提供した。

※ 指導プログラムの実績

| No | プログラム                | 2019 年度実績 | 2018 年度実績 | 2017 年度実績 | 備考                                 |
|----|----------------------|-----------|-----------|-----------|------------------------------------|
| 1  | クラフト                 | 41 件      | 32 件      | 47 件      |                                    |
| 2  | 職員指導プログラム            | 19 件      | 12 件      | 16 件      | ネイチャーツアー、夜のたんけん、火起こしなど             |
| 3  | 野外炊事補助<br>アウトドアクッキング | 18 件      | 5 件       | 16 件      | 通常の野外炊事補助に加えて、バウムクーヘン、アイスクリームづくりなど |
| 4  | キャンプファイヤー補助          | 5 件       | 9 件       | 15 件      | 薪組、司会、火守り                          |
| 5  | 外部講師プログラム            | 4 件       | 9 件       | 14 件      | 天体観測                               |

通常利用の対応を手厚くするため、2018 年度より学校利用を除いて夜のプログラム(夜のもりたんけん、キャンプファイヤーの火守・司会など)の提供を中止している。

全てのプログラムにおいて前年度より提供数が増加した。少人数の家族利用が増えた事、キャンプの経験が浅い団体が増えたことが要因と考えられる。今後も指導プログラムを団体が適切に活用していただけるようにアピールしていくとともに、職員の指導がなくても活用することができるプログラムの資料(プログラムレシピ)を作成し充実させる。

また、研修や情報収集を通して新しいプログラムの開発にも取り組んでいく。

## ② 新規プログラムの開発

以下の 7 つのプログラムを新たに開発した。

- i : クラフトメニューに「ネイチャーアート」を追加。
- ii : 雨天時プログラムとして「わっぱる検定」を追加。
- iii : ウォークラリープログラムとして「わっぱる謎解き」(第 1 章、第 2 章)を追加。

## ③ 主催事業の実施

「わっぱる」の知名度向上や利用促進を図り、自然体験活動や野外活動、団体生活の入り口とするため、主催事業を実施した。

「わっぱる」のファンクラブ「わっぱるキッズ」対象の事業を 2018 年度は 7 回実施していた。しかし、登録者が 600 名を超え、事業に参加できない登録者もあったため、2019 年度は 2 回の宿泊事業をそれぞれ 2 次隊まで実施した。最終的に日帰りと宿泊合わせて 9 回の「わっぱるキッズ」事業を行い、多くの登録者が年間を通して「わっぱる」に親しめるようにした。

※各主催事業の内容や日程、参加者数は、P22「2019 年度主催事業一覧」を参照。

## ④ 「たき火 DAY」の実施

冬季の野外活動の楽しみ方の提案、閑散期の利用者増を目的として「たき火 DAY」を実施した。自由に「たき火」をできる場所を提供し、利用者それぞれにたき火を体験していただいた。

1 回目: 2020 年 2 月 2 日(日) 3 グループ 11 名参加

2 回目: 2020 年 3 月 1 日(日) ※ コロナウイルス感染症の影響で中止。

※「たき火 DAY」の実施は 3 年目となる。(昨年も 2 回実施)

### (3) 自然体験活動、野外活動及び団体生活に関する情報の収集および提供

#### ① ホームページの運営

ホームページを情報発信の柱として位置づけ、主に以下の情報を発信した。

・「わっぱる」のできごと ・主催事業の告知 ・主催事業の報告 ・「能勢」の風物

2019 年度は 20 回の更新を行った。

また、2018 年度より開設している「わっぱる生きもの図鑑」は 42 件の更新をおこなった。(2018 年度は 25 件の更新。

#### ② ツイッターの活用

ブログと関連付けて、ツイッターでの情報発信を行った。(現在フォロワーが 112 名)。

※参考:2018 年度はフォロワーが 76 名

#### ③ フェイスブックの運用開始

公式フェイスブックの運用を開始した。現在は主にブログ記事のシェアを行ったり、施設内の動物の動画紹介、プログラム紹介などを行っている。

(現在 122 名のフォロー、108 名の『いいね』をいただいている)

#### ④ 施設紹介資料の配布

2019 年度も知名度向上と利用促進を目的として施設紹介リーフレットの配布を行った。

##### a: 公共施設向けの資料配布

###### i : 豊中市内公共施設

市内の公民館、図書館、体育館 eMIRAIE 環境交流センター  
豊中市市民活動情報サロン など

###### ii : 能勢町内施設

生涯学習センター、子育て支援センター、浄るりシアター、観光物産センター、けやき資料館、能勢町 B&G 海洋センター、国体記念スポーツセンターライフル射撃場 など

###### iii : 豊中の施設

豊中市児童養護施設 翼

###### iv : 近隣施設

猪名川町スポーツセンター、豊能町立スポーツセンター

##### b: 学校向けの資料送付

学校向けに施設やプログラムの説明資料を豊中市内の小中学校の校長会において配布していただいた。

c:近隣の青少年団体への送付

大阪、京都、兵庫のボーイスカウト及びガールスカウト宛に、施設紹介リーフレットの送付を行った。

#### ⑤ 出前広報活動

職員が「わっぱる」の外に出て、学校や市民向けにプログラムを提供する「出前事業」を、2019年度は21件行った。

| No            | 月日                   | 事業                | 内容                                                                            | 人数(概数) |
|---------------|----------------------|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 1<br>～2       | 4月20日(土)<br>4月21日(日) | ゆめ・まちお天気スクール      | 阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクトの一環で実施。天気に関するワークショップの講師として参加。                              | 40名    |
| 3             | 5月3日(金)              | ふれあい緑地フェスティバル     | 豊中市主催。<br>豊中市青少年野外活動協会として出展したものに、わっぱる職員も参加。鯉のぼりのクラフトを行いながら、施設の宣伝や主催事業の告知も行った。 | 200名   |
| 4             | 6月22日(土)             | 地域こども教室<br>(千成小)  | 木の写真立てを作るクラフトプログラムを提供。                                                        | 20名    |
| 5             | 7月30日(火)             | 夏休み！元気ひろば         | 能勢町健康福祉部・能勢町教育委員会主催。天気に関するワークショップを実施した。                                       | 30名    |
| 6             | 8月10日(土)             | 新田小学校<br>保護者会     | 火起こしのプログラムを提供した。                                                              | 10名    |
| 7             | 9月7日(土)              | 地域こども教室<br>(刀根山小) | 防災教育の一環として、火おこしプログラムを提供。                                                      | 100名   |
| 8             | 10月3日(水)             | 居場所くらし応援室 のんびり水曜日 | NPO 法人 ZUTTO 主催。<br>木の色鉛筆と箸を作るワークショップを実施した。                                   | 10名    |
| 9             | 10月5日(土)             | 地域こども教室<br>(刀根山小) | 木のスプーンを作るクラフトプログラムを提供                                                         | 30名    |
| 11            | 11月30日(土)            | 地域こども教室<br>(南桜塚小) | 松ぼっくりのクリスマスツリーを作るクラフトプログラムを提供。                                                | 20名    |
| 11            | 2月1日(土)              | 地域こども教室<br>(刀根山小) | 木の写真立てを作るクラフトプログラムを提供。                                                        | 20名    |
| 12            | 11月15日(金)            | コラボまつり            | クリスマスツリーの置物、バードコール、木のアクセサリなどを展示・販売。                                           | 50名    |
| 13            | 2月16日(日)             | キッズランドしょうない       | 庄内公民館主催。<br>木の写真たてコーナーを出展。                                                    | 130名   |
| 14<br>～<br>21 | 6月・8月・<br>11月・2月     | 子どもチャレンジ          | 豊中人権まちづくりセンター児童館主催。豊中市青少年野外活動協会が受託したものにわっぱる職員も参加。年間を通して、登録者を対象に様々なプログラムを実施。   | 250名   |

※ 地域子ども教室については、生涯学習課が行う指導者向け説明会や研修会において施設とプログラムのPRをした。(6月。3月も予定されていたが、コロナウイルス感染症の影響で中止)

#### (4) 自然体験活動、野外活動及び団体生活の指導者の育成及び支援

##### ① インターンシップ生の受け入れ

夏季(8月)に大阪体育大学(熊取町)の学生2名、春季(3月)に追手門学院大学(茨木市)の学生1名のインターンシップを受け入れた。

##### ② キャンプテクニックスクールの実施

11月に主催事業としてキャンプテクニックスクールを実施した。当協会のボランティアだけではなく、広く「子どもに関わる人」を対象に、コミュニケーションや子どもとのかかわり方について学んだり、考えたりする場を作った。

|     | 場所          | 参加人数 |
|-----|-------------|------|
| 1回目 | 豊中市立青年の家いぶき | 17人  |
| 2回目 | 豊中市立青年の家いぶき | 14人  |
| 3回目 | 豊中市立青少年自然の家 | 17人  |

##### ③ キャンプカウンセラーの育成

主催事業やプログラム提供など、「わっぱる」運営への参画や研修を通して、当協会に所属しているボランティア(キャンプカウンセラー)の育成を図った。研修や、主催事業の企画・運営といった実践の中で指導者としてのレベルアップを図った。団体内での研修に加えて、外部からの講師を招いての研修も実施。キャンプカウンセラーの技術や知識に加えて、モチベーションの向上を図った。

ボランティア向け研修は年間で15回実施。野外活動技術、組織キャンプの理解、子どもの理解、環境教育、救急法、スキー技術などを実施した。

#### (5) その他の「施設運営」に関する取り組み

##### ① 食事提供体制の充実

引き続き食堂業者と、月に1回程度の定期ミーティングを持ち、利用者からの要望の共有を行うとともに、食事の内容や提供方法、食堂の環境等の改善を進めた。

※2019年度の実施内容

- ・季節に応じて、旬の食材を使った給食メニューの考案、提供。(季節ごと・4回)
- ・団体の年齢層に応じた、食事量の調整。
- ・アレルギー対応に関する情報共有。

- ・夏季の冷茶無料提供。

## ② 心地よい空間づくり

利用者にとって居心地が良く、「わっぱるの自然」に興味を持ってもらえるように、主に事務所前の団らんスペースにおいて以下を実施した。

- a: わっぱる敷地内にある樹木や苔、鉱石などの展示。生物の展示
- b: 書籍の充実。(アウトドア雑誌や自然環境に関する団体の機関誌、能勢町の資料など)
- c: 施設で体験できるクラフト見本の展示
- d: 他団体、他施設の紹介チラシ、イベントに関するチラシのコーナー …等

## 3. 安全対策

前述の通り「安全・危機管理担当」を定め、利用者・利用団体の安全対策に取り組んだ。

### (1) 危機管理マニュアルの整備

既に存在する「危機管理マニュアル」の内容に関して、各項目において検討を行い、追加や改訂を行った。昨年度に作成した火災時の対応フロー図については、避難訓練を通してより使いやすいものに改訂した。

### (2) 「食の安全」への対応

安全な食事のために、消費期限や賞味期限のチェック体制、食材の仕入れ体制について、食堂を委託している業者との間で確認を行った。また、アレルギーやハラル食に関しても、食物アレルギー調査票を運用し、食堂業者と密に連絡を取りながら対応を行った。

### (3) 応急救護力の向上

主に豊中市消防局が実施している講習や、当協会主催の研修に参加することを通して、応急救護力の向上につとめた。(研修の詳細については P16 「5. 職員の配置・育成」を参照)

### (4) 緊急時を想定した訓練の実施

年度内に 2 回の避難訓練・避難誘導訓練・消火訓練を実施した。

### (5) 気象災害への対応

近年頻発する気象災害を受けて、災害時の対応についての整理を行った。

- ・豪雨、暴風などの気象状況によって、施設判断で閉鎖を行うこと。
  - ・熱中症指数(WBGT)を基準に、利用団体へ注意を呼びかけること。
- を、今後も引き続き行っていく。

## (6) 感染症への対応

コロナウイルス感染症の拡大を受けて、施設利用にあたって感染抑制のために利用者に求めること、スタッフが行うことの整理を行った。2020 年度も引き続き、感染症の状況に応じた対応を行っていく。

## 4. 施設管理・施設整備

今年度も、引き続き「安全・安心」を念頭に置きながら施設管理を行った。施設の破損や必要な整備項目については、発見後にミーティング等を通して随時職員間で共有をはかり、補修・修繕の方針を決定するという「施設管理サイクル」の定着を意識した。また、「ワークキャンプ」「わっぱるの森をつくろう」といった主催事業を通して、多くの市民・団体に施設整備に関わってもらい、親しみを感じてもらえるように働きかけた。また、2018 年度の台風・豪雨による被害の復旧作業に対して、多くの市民・市民団体に協力していただいた。

※実施項目

- (1) 専門的内容の業者への委託
- (2) 計画的な施設管理サイクルの定着
- (3) 市民・市民団体・ボランティアと協働した施設整備
- (4) 「とよなかの里山 わっぱる」の魅力を高める整備活動
- (5) 台風・豪雨による被害の復旧作業(主に河川の復旧作業)

### (1) 専門的内容の業者への委託

利用者の安全と施設の保守のため、以下の業務について専門業者に委託を行い適切な施設管理に努めた。

| No | 業務           |
|----|--------------|
| 1  | 施設警備         |
| 2  | 食堂運営・清掃業務    |
| 3  | 自家用電気工作物保守点検 |
| 4  | 消防設備機器保守点検   |
| 5  | 浄化槽設備維持管理    |
| 6  | 給湯用ボイラー保守点検  |
| 7  | 暖房用ボイラー保守点検  |
| 8  | 水質管理機器保守点検   |
| 9  | ろ過装置保守点検     |
| 10 | 水質検査         |
| 11 | ごみ処理         |
| 12 | 天体望遠鏡保守      |

(委託業務の内容、委託先は別紙 4-1 の通り)

## (2) 計画的な施設管理サイクルの定着

引き続き、施設管理を重点的に担当する職員（管理マネージャー）の計画・指導のもと、修繕・補修が必要な個所の発見→方針の決定→計画→修繕・補修というサイクルを日常業務の中に組み入れながら施設管理を行った。

主に以下の整備を、職員によって、もしくは豊中市と連携を取りながら行った。

### ① 職員が行った主な整備項目

- ・ 場内の水路補修（通年）
- ・ 場内の手すり、階段、看板の補修（通年）
- ・ 場内の枯れ木の伐採、倒木の整備、焼却、薪作り（主に冬季）
- ・ 場内の常緑樹の間伐（冬季）
- ・ 前年の豪雨氾濫に伴う河川清掃（4 月）
- ・ 野外浄化槽周辺の覆い作成（6 月）
- ・ 場内各所、単管のペンキ塗り（6 月）
- ・ キャンプ場入り口、大看板製作（6 月）
- ・ 材木置き場改修（9 月）

### ② 業者が行った整備項目

- ・ 場内水道管、排水管、ポンプ、トイレ等の破損補修（通年）
- ・ 館内の蒸気管の蒸気漏れ補修（冬季）
- ・ 北の沢の砂防工事（前年度～7月）
- ・ 南の沢の砂防工事（12 月～）
- ・ 第三山小屋の屋根修理（1 月～3 月）
- ・ 裏山の植栽木周辺整備（1 月～3 月）

## (3) 市民・市民団体・ボランティアと協働した施設整備

「ワークキャンプ」「わっぱるの森をつくろう」などの主催事業を通じて市民・市民団体・ボランティアを巻き込んだ施設整備・森林整備を実施。また、利用団体と協力しての整備も実施した。

- ・ ワークキャンプ（年 2 回実施 夏前・夏後）
- ・ わっぱる森をつくろう  
（10 月、1 月、2 月の 3 回実施。3 月実施予定分はコロナウイルス感染症のために中止）
- ・ 豊能登山キャンプクラブ  
（6 月と 11 月に第 4 炊事場周辺の草刈りを実施）
- ・ 河川整備（4 月に 4 回実施）

2018 年度の台風・豪雨の被害を受けて閉鎖していた大路次川の復旧作業を行った。整備以降、再び水辺での活動ができる状態となった。

※ 河川清掃の協力者数

| 月日       | 作業内容         | 協力者数 |
|----------|--------------|------|
| 4月6日(土)  | ・川原の掃除、流木の撤去 | 25名  |
| 4月7日(日)  | ・川原の掃除、流木の撤去 | 2名   |
| 4月13日(土) | ・川原の掃除、流木の撤去 | 22名  |
| 4月14日(日) | ・川原の掃除、流木の撤去 | 10名  |

#### (4)「とよなかの里山 わっぱる」の魅力を高める整備活動

「とよなかの里山 わっぱる」の魅力を高めるために、以下の活動を行った。

##### ① 水辺の整備

主催事業「ワークキャンプ」の機会等を利用してゴミ拾いを行うとともに、周辺部の刈払いや間伐を行った。また、2018年度の台風・豪雨の影響で流木やゴミが大量に漂着し、水辺はいったん閉鎖したが、前述の通り、4月に集中的に整備を実施し、再び水辺での活動が可能となった。

##### ② 間伐の実施

キャンプ場敷地をゾーニングして、手を入れるエリアについて常緑樹を中心に間伐を行った。

## 5. 職員の配置・育成

### (1) 職員の配置

以下のように、職員を配置した。

| 区分             | 人数 | 主な職務内容                                                        | 摘要            |
|----------------|----|---------------------------------------------------------------|---------------|
| 所長             | 1  | 指定管理業務全体の統括                                                   | 所長            |
| 副所長 兼<br>事業担当  | 1  | 指定管理業務の企画立案と運営、労務管理、豊中市との連絡調整業務、安全衛生管理、職員の研修計画策定、主催事業の企画立案と運営 | 副所長 兼<br>事業担当 |
| 管理<br>マネージャー   | 1  | 施設管理、外注契約指導・履行確認、各種メンテナンス契約事務、物品調達、利用者対応、施設管理、備品管理            | 管理<br>マネージャー  |
| 広報担当           | 1  | 利用者対応、施設管理、施設広報<br>主催事業担当                                     | 広報担当          |
| 主任指導員          | 1  | 利用者対応、施設管理<br>主催事業担当                                          | 主任指導員         |
| 指導員            | 1  | 利用者対応、施設管理<br>主催事業担当                                          | 指導員           |
| 常勤職員計          | 6  |                                                               |               |
| 非常勤職員<br>(繁忙期) | 1  | 利用者対応補助、施設管理補助                                                | 補助職員          |

## **(2) 職場における安全衛生管理**

第一種衛生管理者の資格を持つ安全衛生担当者(副所長)を設置。担当者を中心として、職員ミーティングを活用しながら、労働環境について話し合った上で、良好な職場環境の維持・改善に取り組んだ。

## **(3) 公共施設の職員にふさわしい意識、スキル**

主に「①人権意識」「②情報保護に関する知識・意識及びビジネスマナー」「③応急救護力」「④施設管理やプログラム指導において望ましい資格やスキル、知識の習得」の4つを念頭に置きながら職員の育成を図った。以下の研修に参加したり、職員の派遣を行ったりした。

### ① 人権意識

#### **・人権研修の実施(3月)**

※人権研修の一環として、人権啓発映像作品を豊中市教育委員会社会教育課より借りて、職員全員で視聴し、感想意見を述べ合い、相互研鑽を図った。

- ・「ハラスメントを生まないコミュニケーション グレーゾーン事例から考える」
- ・「君が、いるから」

### ② 情報保護に関する知識・意識及びビジネスマナー

※情報保護に関する知識・意識及びビジネスマナーについては、業務の中で随時トレーニングを行った。

### ③ 応急救護力

※当協会の団体内講習の中で実施する応急救護プログラムに職員も参加した。

### ④ 施設管理やプログラム指導において望ましい資格やスキル、知識

a: 外部団体主催のもの

・初級ビジネススキル研修(4月2日・近鉄百貨店グループKサポート主催・1名参加)

※ あいさつ、電話対応、名刺交換など

・大径木伐木等(チェーンソー等)特別教育

(4月19日～20日・コベルコ教習所主催・2名参加)

・近畿地区青少年教育施設所長研修会

(4月21日～22日・近畿地区青少年教育施設協議会・1名参加)

・近畿地区青少年教育施設職員基本研修会

(4月22日～23日・近畿地区青少年教育施設協議会・1名参加)

・日本キャンプミーティング キャンプ大学

(6月8日・公益社団法人日本キャンプ協会主催・1名参加)

- ※ 野外教育史、キャンプと法律、キャンプの安全マネジメントなど
- ・アイスブレイクコミュニケーション法 ベーシックコース(9月8日・Pulsate 主催・1名参加)
- ・危険物取扱者保安講習(9月19日・豊中市消防本部主催・2名参加)
- ・知らせるプロジェクト 書き手講座  
(10月4日・社会福祉法人大阪ボランティア協会主催・1名参加)
- ※ 活動内容や取り組む課題を第三者に分かりやすく伝える方法について
- ・チェーンソー伐木講習(10月4日・コマツ教習所主催・1名参加)
- ・キャンプ先駆者に学ぶ組織キャンプの教え  
(大阪府キャンプ協会、公益財団法人関西テレビ青少年育成事業団主催・1名参加)
- 1回目:10月9日 松田稔のキャンプのこころ
- 2回目:11月13日 小西孝彦のキャンプの教え
- 3回目:12月11日 酒井哲雄のキャンプの世界
- ・コミュニケーション ワークショップ(11月9日・共育座 RED STONE 主催・1名参加)
- ・クエスチョン思考 入門編  
(11月10日・株式会社あすいろクリエイト、関西大学梅田キャンパス主催・1名参加)
- ※問題発見、課題設定の際に必要な「正しい問い」を選び、正しい質の答えを導き出す力を高めるワークショップ
- ・多様な教育の博覧会 EDU COLLE(11月17日・武田緑事務所-Demo-主催・1名参加)
- ※教育を担う学校、企業、NPOなどのブース出展、トークセッション、ワークショップなど。
- ・アイスブレイクコミュニケーション法 アドバンスコース(11月23日・Pulsate 主催・1名参加)
- ・全国青少年教育施設所長会議・施設研究集会  
(11月28日～29日・独立行政法人国立青少年教育施設振興機構主催・1名参加)
- ・近畿地区青少年教育施設協議会 専門研修会  
(12月4日～5日・近畿地区青少年教育施設協議会主催・1名参加)
- ※リスクマネジメントについての研修、ヒヤリハット事例の共有など
- ・自然観察指導者講習会(12月7日・公益財団法人日本自然保護協会主催・1名参加)
- ・伐木作業の業務に係る特別教育  
(12月11日～12日・PER 建機教育センタ主催・1名参加)
- ・キャンプディレクター1級養成講座  
(12月13日～12月15日・公益社団法人日本キャンプ協会主催・1名参加)
- ・子どもワーカー交流フォーラム～世界と日本の子ども事情とこれから～  
(1月18日・子どもワーカー交流フォーラム実行委員会主催・1名参加)
- ・電気取扱い業務に係る特別教育(低圧電気)  
(1月23日・コマツ教習所主催・1名参加)
- ・自然観察指導員全国大会 ～自然体験活動のトランスフォーマティブチェンジ～  
(1月25日・公益財団法人日本自然保護協会主催・1名参加)

・フルハーネス型墜落制止用器具を用いる業務に係る特別教育

(1月27日・コマツ教習所主催・1名参加)

・大阪府青年の家等連絡協議会総会、施設見学会

(1月30日・大阪府青年の家等連絡協議会主催・2名参加)

※大阪府内の各施設の情報交換、会場である箕面市立青少年教学の森野外活動センターの見学会を実施

・近畿地区青少年教育施設ユースプロジェクト研修

(2月4日～5日・近畿地区青少年教育施設ユースプロジェクト主催・1名参加)

※事務処理方法の効率化について考えるとともに、職員間の交流を図った

※参加職員とは別に、職員1名が主催者として研修を運営した)

・伐木等の業務追加講習(補講)(2月6日・コマツ教習所主催・1名参加)

・キャンプディレクター1級 検定会

(2月8日・公益社団法人日本キャンプ協会主催・1名参加)

・森と自然を活用した保育・幼児教育を考えるシンポジウム

(2月15日・近畿中国森林管理局主催・1名参加)

b: 団体内講習

i: 技術研修(登山、テント設営、野外炊事、応急救護など)

1回目: 5月11日～12日・1名参加

2回目: 6月8日～9日・1名参加

3回目: 7月7日・1名参加

ii: コミュニケーション研修(10月6日・1名参加)

※即興劇を使った研修

iii: キャンプテクニックスクール

1回目: 11月2日・1名参加

2回目: 11月16日・1名参加

3回目: 11月23日・2名参加

※子どもと接する指導者としての心構え、働きかけ方、グループワークなど。

iv: スキー研修(12月20日～22日・3名参加)

内容: スキー技術、教え方について

⑤ その他

a: 他団体実施事業への派遣

i: 11月30日～12月1日 ※小学生対象

派遣先: Pulsate(1名派遣)

内容: 1泊2日の中での物づくりや課題解決を通して、人との関わりを学んだり、自

分の考えを実現する体験をしたりする。

ii : 2 月 4 日～2 月 5 日

派遣先: 近畿地区青少年教育施設ユースプロジェクト(1 名派遣)

内容: 近畿地区における野外活動施設の若手職員有志によるプロジェクト。合同での研修会を企画、準備、運営を行った。

#### **(4) 職員企画提案事業の実施**

定期的を実施する職員ミーティングを通じて、職員間で施設整備項目や、利用者への提供プログラムなどを検討し実現した。(場内の修繕項目や、クラフトプログラム、自然体験プログラムなど)

## 2.本施設の利用状況

| 利用者種別  | 宿泊棟・管理棟 |      |      | テント |     |      | 日帰り |      |      |
|--------|---------|------|------|-----|-----|------|-----|------|------|
|        | 団体数     | 実人数  | 延人数  | 団体数 | 実人数 | 延人数  | 団体数 | 実人数  | 延人数  |
| 1.市内目的 | 59      | 2154 | 4743 | 21  | 620 | 1545 | 46  | 1865 | 1865 |
| 2.市内一般 | 2       | 29   | 56   | 2   | 22  | 39   | 3   | 34   | 34   |
| 3.市内家族 | 14      | 64   | 131  | 10  | 45  | 90   | 16  | 58   | 58   |
| 4.市内行政 | 0       | 0    | 0    | 0   | 0   | 0    | 2   | 37   | 37   |
| 5.市外   | 54      | 1555 | 3326 | 22  | 208 | 499  | 45  | 808  | 808  |
| 合計     | 129     | 3802 | 8256 | 55  | 895 | 2173 | 112 | 2802 | 2802 |

| 利用者種別  | 合計  |      |       |
|--------|-----|------|-------|
|        | 団体数 | 実人数  | 延人数   |
| 1.市内目的 | 126 | 4639 | 8153  |
| 2.市内一般 | 7   | 85   | 129   |
| 3.市内家族 | 40  | 167  | 279   |
| 4.市内行政 | 2   | 37   | 37    |
| 5.市外   | 121 | 2571 | 4633  |
| 合計     | 296 | 7499 | 13231 |

## 2019 年度 事業一覧(主催・共催)

| NO    | 事業名                  |                         | 対象            | 日程                                 | 実人数  | 延人数  |
|-------|----------------------|-------------------------|---------------|------------------------------------|------|------|
| 1     | オープンフェスタ 春           |                         | 家族・グループ       | 5月18日・19日<br>(日帰り)<br>宿泊も可         | 319  | 377  |
| 2     | オープンフェスタ 秋           |                         | 家族・グループ       | 10月19日・20日<br>(日帰り)<br>宿泊も可        | 328  | 383  |
| 3     | ワークキャンプ 6月           |                         | 一般            | 6月26日～30日<br>(5日間)                 | 74   | 135  |
| 4     | ワークキャンプ 9月           |                         | 一般            | 9月7日～8日<br>(1泊2日)                  | 39   | 60   |
| 5     | ジュニアキャンプ             |                         | 小学生<br>(5,6年) | 8月3日～5日<br>(2泊3日)                  | 24   | 72   |
| 6     | キャンピングスクール           |                         | 小学生<br>(3,4年) | 8月10日～12日<br>(2泊3日)                | 38   | 114  |
| 7     | キャンプテクニックスクール        |                         | 一般            | 11月6日<br>11月15日<br>11月23日<br>(日帰り) | 34   | 34   |
| 8     | ユースチャレンジキャンプ         |                         | 困難を有する若者      | 9月25日～29日<br>(4泊5日)                | 9    | 45   |
| 9～17  | わっぱるキッズ              | ① カレー作り                 | 小学生<br>(1～6年) | 5月25日・26日<br>(日帰り)                 | 26   | 26   |
|       |                      | ② 川の生き物観察               |               | 6月15日・16日<br>(日帰り)                 | 20   | 20   |
|       |                      | ③-1<br>サマーキャンプ<br>(1次隊) |               | 8月23日～24日<br>(1泊2日)                | 34   | 64   |
|       |                      | ③-2<br>サマーキャンプ<br>(2次隊) |               | 8月24日～25日<br>(1泊2日)                | 38   | 76   |
|       |                      | ④ 焚き火                   |               | 11月2日・3日<br>(日帰り)                  | 15   | 15   |
|       |                      | ⑤-1<br>クリスマス(1次隊)       |               | 12月7日～8日<br>(1泊2日)                 | 40   | 80   |
|       |                      | ⑤-2<br>クリスマス(2次隊)       |               | 12月14日～15日<br>(1泊2日)               | 38   | 76   |
|       |                      | ⑥ 餅つき                   |               | 1月18日・19日<br>(日帰り)                 | 35   | 35   |
|       |                      | ⑦ みそ作り                  |               | 2月15日・16日<br>(日帰り)                 | 35   | 35   |
| 18～21 | わっぱるの森をつくろう(第1回～第4回) |                         | 家族・グループ・一般    | 10月26日<br>(日帰り)                    | 4    | 4    |
|       |                      |                         |               | 1月25日<br>(日帰り)                     | 11   | 11   |
|       |                      |                         |               | 2月22日<br>(日帰り)                     | 12   | 12   |
|       |                      |                         |               | 3月21日<br>(日帰り)                     | 中止   | 中止   |
| ※共催事業 |                      |                         |               |                                    |      |      |
| NO    | 事業名                  |                         | 対象            | 日程                                 | 実人数  | 延人数  |
| 22    | 豊中星空まつりin能勢          |                         | 家族・グループ       | 11月16日～17日<br>(1泊2日)               | 124  | 248  |
|       |                      |                         |               | 合計(主催+共催)                          | 1297 | 1922 |

### 3.使用料等(利用料金)収入の状況

以下のとおり、使用料の徴収を行った。

2019 年度 施設使用料の状況

| 月   | 使用料       |
|-----|-----------|
| 4月  | 66,400    |
| 5月  | 349,200   |
| 6月  | 247,500   |
| 7月  | 397,800   |
| 8月  | 353,400   |
| 9月  | 133,450   |
| 10月 | 57,200    |
| 11月 | 47,000    |
| 12月 | 21,100    |
| 1月  | 17,800    |
| 2月  | 9,000     |
| 3月  | 88,400    |
| 合計  | 1,788,250 |

## 4.管理運営業務に係る 経費の収支状況

2019年度 豊中市立青少年自然の家わっぱる 収支報告書

(1) 収入

(単位:円)

| 区分        | 予算額        | 精算額        |         | 差引増減額(精算-予算) |
|-----------|------------|------------|---------|--------------|
| 豊中市指定管理料  | 55,005,000 | 55,004,630 |         | -370         |
| 主催事業参加費収入 | 5,562,000  | 4,507,635  |         | -1,054,365   |
| 補助金収入     | 0          | -28,741    |         | -28,741      |
| 収益事業      | 1,900,000  | シート利用料収入   | 807,930 | -275,871     |
|           |            | その他物販収入    | 816,199 |              |
| 合計        | 62,467,000 | 61,107,653 |         | -1,359,347   |

(2) 支出

| 区分             | 予算額        | 精算額        |           | 差引増減額(精算-予算) |
|----------------|------------|------------|-----------|--------------|
| 施設運営人件費        | 27,000,000 | 28,006,020 |           | 1,006,020    |
| 燃料費            | 700,000    | 930,744    |           | 230,744      |
| 光熱水費           | 2,300,000  | 2,297,517  |           | -2,483       |
| 修繕費            | 3,000,000  | 3,006,436  |           | 6,436        |
| 保険料            | 50,000     | 44,100     |           | -5,900       |
| 外注検査等委託費       | 14,650,000 | 14,693,431 |           | 43,431       |
| 主催事業運営費(育成費含む) | 6,845,000  | 主催事業運営費    | 4,432,658 | -1,827,573   |
|                |            | 育成費        | 584,769   |              |
| 運営事務費          | 2,820,000  | 2,147,218  |           | -672,782     |
| 一般管理費          | 1,981,000  | 2,793,213  |           | 812,213      |
| 公課費            | 2,275,000  | 2,171,547  |           | -103,453     |
| 予備費            | 846,000    | 0          |           | -846,000     |
| 合計             | 62,467,000 | 61,107,653 |           | -1,359,347   |

# 参考資料(アンケート集計)

## アンケート集計表(2019 年度)

アンケートに回答していただいた団体・グループ数 182

無記名方式 当日の打合せの際に手渡しし、帰る前に記入・お返しいただく。

### ◆ 施設をどうやって知ったか？

| 項目         | 数値  | 割合     |
|------------|-----|--------|
| インターネット検索  | 28  | 15.4%  |
| チラシ        | 2   | 1.1%   |
| 広報とよなか     | 0   | 0.0%   |
| 知り合いから     | 21  | 11.5%  |
| 以前から利用していた | 88  | 48.4%  |
| その他        | 43  | 23.6%  |
| 合計         | 182 | 100.0% |

### ◆ 利用満足度

| 項目     | 数値  | 割合     |
|--------|-----|--------|
| 大変良かった | 95  | 68.3%  |
| 良かった   | 39  | 28.1%  |
| ふつう    | 4   | 2.9%   |
| 良くなかった | 1   | 0.7%   |
| 合計     | 139 | 100.0% |

### ◆ 今後の利用について

| 項目               | 数値  | 割合     |
|------------------|-----|--------|
| ぜひ利用したい          | 95  | 73.1%  |
| 機会があれば利用したい      | 30  | 23.1%  |
| イベント・企画があれば利用したい | 5   | 3.8%   |
| 利用したくない          | 0   | 0.0%   |
| 合計               | 130 | 100.0% |

### ◆ 良かった点(複数回答)

| 項目      | 数値  | 割合     |
|---------|-----|--------|
| 施設・設備   | 60  | 24.7%  |
| 食事      | 43  | 17.7%  |
| 指導プログラム | 23  | 9.5%   |
| スタッフ対応  | 102 | 42.0%  |
| 交通      | 12  | 4.9%   |
| その他     | 3   | 1.2%   |
| 合計      | 243 | 100.0% |

### ☆ 施設・設備

- ・第4炊事場でピザ釜が使えて良かったです。
- ・川遊びが近くて便利。
- ・川遊びができるところが良かった。魚やカエル、トカゲなど生き物が見られるところ。
- ・自然が豊かなところ。山以外に川辺での遊びができる。

### ☆ 指導プログラム

- ・中川先生の星の観測が非常に良かったです。
- ・写真立てづくりは5歳と3歳の小さい子でも楽しめました。
- ・木のスプーン作りやバードコール作りに丁寧に対応していただいた。

### ☆スタッフ対応

- ・自炊中大雨になり、できた食材を食堂まで車で運んでくださいました。
- ・ケガの対応、ご厚意大変感謝いたします。ありがとうございました。
- ・荷物を運んでくれたりして非常に助かりました。
- ・夜に月を見せていただいたり、親切にしてくださいました。
- ・スタッフのきさくさが良い。
- ・変わらず温かい対応でアットホームで良かったです。
- ・雨でしたがいろいろなことに対応してくださって感謝です。
- ・誰に何を聞いても丁寧に答えてくださりとてもプラン実施がしやすかったです。

### ☆交通

- ・大阪市に近かった。
- ・京都市内からアクセスが良く、亀岡市のバスの便も良かった。
- ・尼崎からくるのに道が便利になりました。

### ◆良くなかった点(複数回答)

| 項目      | 数値 | 割合     |
|---------|----|--------|
| 施設・設備   | 14 | 46.7%  |
| 食事      | 1  | 3.3%   |
| 指導プログラム | 3  | 10.0%  |
| スタッフ対応  | 0  | 0.0%   |
| 交通      | 8  | 26.7%  |
| その他     | 4  | 13.3%  |
| 合計      | 30 | 100.0% |

### ★ 指導プログラム

- ・ストーンペイントのポスカが本数が少ない上に、出ないものが多数。
- ・材料、説明が足りなく感じました。
- ・クラフトやカートンドッグのやり方がわからないままのところがあった。

### ★ 施設・設備

- ・洋式トイレの場所が増えるといい。
- ・虫が苦手な子は廊下等で虫を見かけて嫌がっていた。
- ・年齢的に地形の高低は少しきつい。
- ・車いす用のエレベーターを設置してほしい。
- ・掃除をするときの洗剤等あればもっと衛生面が改善されると思います。
- ・昭和37年に設立されているため、壁面やトイレ周りなどペンキの塗り替え、補強が必要かと感じた。
- ・炊事場で水漏れがあった。

### ★ 交通

- ・バスの時間が合わせにくい。
- ・京都側から交通機関が少ない。

## ★ その他

- ・この季節、エアコンなしでの宿泊室は暑くて危なくて寝られないので
- ・エアコン料金がもう少し割安だとよい。
- ・調理器具・食器類のレンタルがあると有難い(持込でも)。

### ◆その他、感想・要望など

- ・テントベースがもう少し広いと良かった
- ・ツリークエストをもう少し複雑に(中学生向け)して2時間ぐらいのものがあればよい。
- ・古い設備だけど、また来たいので存続し続けてほしいです。
- ・4WDの車両については、サイト付近まで乗り入れさせてほしいです。
- ・頂上でゆっくりしたかった。ベンチがあれば良いと思った。

### ◆食事について

#### ※給食

分量は適当でしたか？(こども)

| 項目  | 数値 | 割合     |
|-----|----|--------|
| 少ない | 0  | 0.0%   |
| 普通  | 42 | 87.5%  |
| 多い  | 6  | 12.5%  |
| 合計  | 48 | 100.0% |

分量は適当でしたか？(大人)

| 項目  | 数値 | 割合     |
|-----|----|--------|
| 少ない | 4  | 6.7%   |
| 普通  | 54 | 90.0%  |
| 多い  | 2  | 3.3%   |
| 合計  | 60 | 100.0% |

味はいかがでしたか？

| 項目 | 数値 | 割合     |
|----|----|--------|
| 満足 | 46 | 76.7%  |
| 普通 | 12 | 20.0%  |
| 不満 | 2  | 3.3%   |
| 合計 | 60 | 100.0% |

#### ※弁当

分量は適当でしたか？(こども)

| 項目  | 数値 | 割合     |
|-----|----|--------|
| 少ない | 0  | 0.0%   |
| 普通  | 8  | 100.0% |
| 多い  | 0  | 0.0%   |
| 合計  | 8  | 100.0% |

分量は適当でしたか？(大人)

| 項目  | 数値 | 割合     |
|-----|----|--------|
| 少ない | 0  | 0.0%   |
| 普通  | 9  | 90.0%  |
| 多い  | 1  | 10.0%  |
| 合計  | 10 | 100.0% |

味はいかがでしたか？

| 項目 | 数値 | 割合     |
|----|----|--------|
| 満足 | 10 | 100.0% |
| 普通 | 0  | 0.0%   |
| 不満 | 0  | 0.0%   |
| 合計 | 10 | 100.0% |

### ※野外炊事

分量は適当でしたか？(こども)

| 項目  | 数値 | 割合     |
|-----|----|--------|
| 少ない | 1  | 3.2%   |
| 普通  | 25 | 80.6%  |
| 多い  | 5  | 16.1%  |
| 合計  | 31 | 100.0% |

味はいかがでしたか？

| 項目 | 数値 | 割合     |
|----|----|--------|
| 満足 | 33 | 97.1%  |
| 普通 | 1  | 2.9%   |
| 不満 | 0  | 0.0%   |
| 合計 | 34 | 100.0% |

分量は適当でしたか？(大人)

| 項目  | 数値 | 割合     |
|-----|----|--------|
| 少ない | 2  | 5.3%   |
| 普通  | 36 | 94.7%  |
| 多い  | 0  | 0.0%   |
| 合計  | 38 | 100.0% |

### ◆食事についての要望等

- ・調味料の種類を増やしてほしい
  - ・アレルギー対応、ハラル対応の食事は完璧でした。
- 世界の料理の材料をありがとうございました。
- ・今後バイキング形式で給食を提供して頂けたらありがたいです
  - ・冷えたお茶の配給は本当に助かりました。
  - ・お肉の量も多めで嬉しいです。変わらずいいお肉で美味しく食べました。
  - ・種類を多く頼むことができればなお良い
  - ・野外炊事の調味料が持参できればなーと思います。
  - ・アレルギー等対応ありがとうございました